

「修正会（じゆじゆうえ）」のご案内

IMFORMATION

平成 30 年 1 月 1 日

午前 10 時 30 分

徳泉寺本堂

勤行

住職法話

茶話会

新しい年の始まりを徳泉寺で。阿弥陀様に手を合わせ、ご自身を見つめて新年をお迎えしましょう。

同朋会コーナー

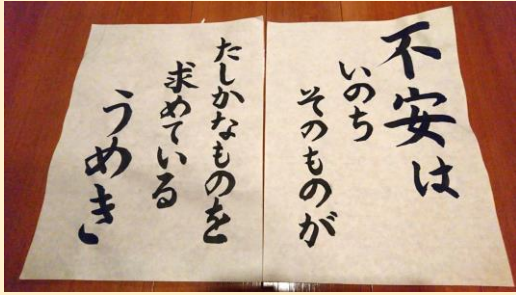
十一月同朋会より

住職法話 『不安と求め』

このひと月、仙台市内各寺院で行われている報恩講。あちこちの報恩講に出仕して思い馳せるのは、鎌倉時代、関東から京都の親鸞聖人のもとへと身を顧みず救いを求めて尋ねた人々のこと。私の中にある「不安」が、「確かなもの」を求め、七五〇年の時を超えてなお親鸞聖人の言葉を聞き求めているのでしよう。



今月のことは



宮城顛（みやぎしずか）さんの言葉。
私たちは知らず知らずに、たしかなものを求めている。それなら不安もそれほど悪くないのかもしれない。

境内の花々



前住職法話 『歎異抄第十四章』より

毎月『歎異抄』についてお話をすすめています。

十一月は第十四章。本当の宗教は一時的に「楽になる」ことではない。阿弥陀の願いは「生まれてきて本当に良かった」と思える意義、「どんなに辛くても生きていく」意義を見つけること。宗（むね）となる教えを中心において、私は教えによって生かされている自覚を持ち「与えられた生」を「生ききっていく」ことが本当の宗教である、と親鸞聖人は説かれました。

一月の同朋会はお休みです。会員の方には、新年会のご案内を別途送付いたします。

とくほう 『徳泉寺報』後記

「遠くてお寺まで行かない」そんな方にとってこの会報が楽しみになればいいなあと思います
2017年もあと少し「今日」のうちに大掃除！